

猪井 博登

大阪大学大学院 工学研究科 地球総合工学専攻 助教

## ハンドル形電動車いすの利用可否判断の簡易測定器の開発

本研究では、ハンドル形電動車いす利用を想定し、通路角の通過可否や駐車可否を判断することのできる測定器の開発を行った。多種多様であるハンドル形電動車いすの性能を反映し、最小回転半径・全長・全幅・後輪軸位を引数としたスライドの描画の仕組みを作成した。このスライドを用い、通路角の通過可否や駐車可否を判断することができる測定器を開発した。

特に、通路角の通過の可否に着目し、測定器の有用性を室内実験により検証した。この測定器は、主観的評価より通路角を右左折できるかを判断することに有用であることが示せた。また、実際の通過と測定器での判断を比較したところ、通過が困難であるケースでは、比較的正しく判断できていることがわかった。

測定器の使用により運転技術の向上を期待したが、単純に使用するだけでは効果はなかったが、車両の挙動について理解が進めば、効果があるものと期待される。